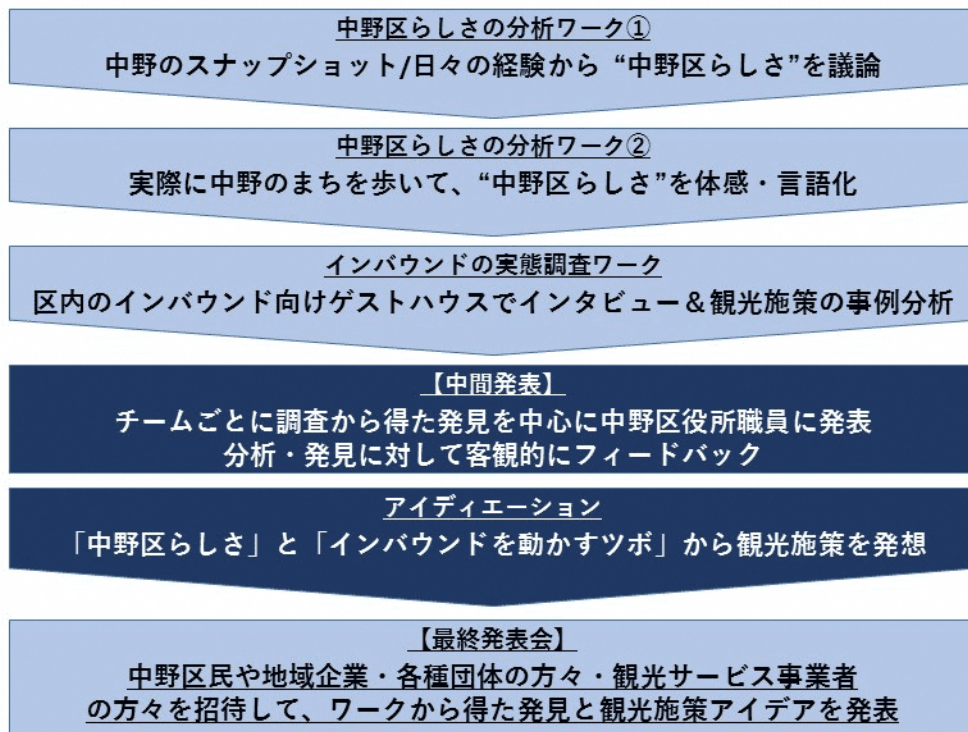


これまで、中野に対するイメージや経験をもとにして本質を抽出する分析ワークや実際にまちを歩いて肌で感じるタウンウォッチング、外国人観光客向けゲストハウスのヒアリングを通して、「中野区らしさ」を研究しました。

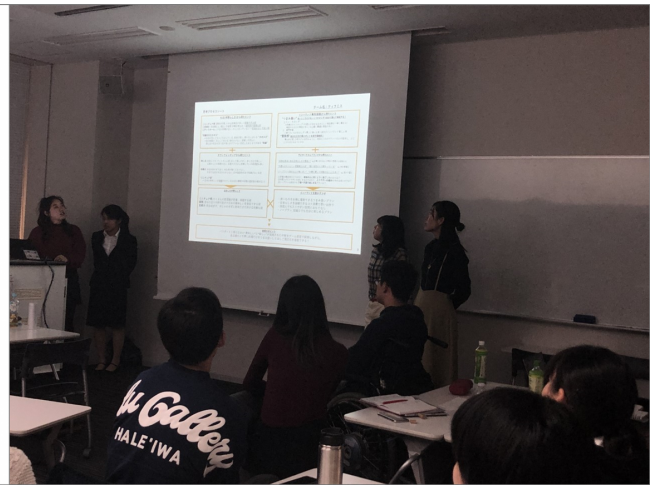
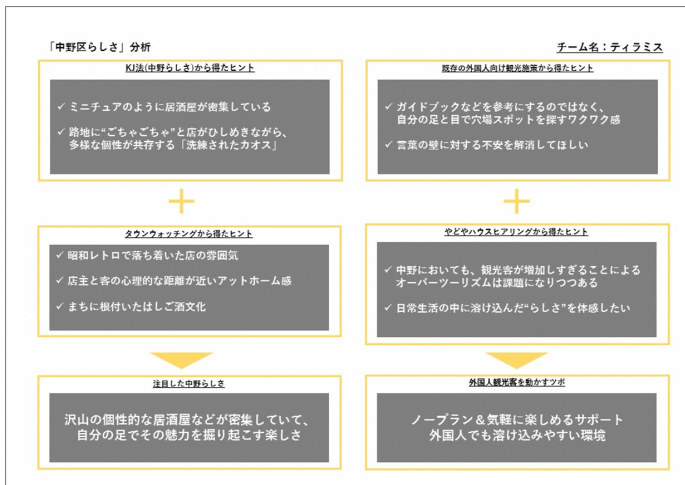
11月19日に行ったワークショップでは、これまでの調査・分析結果の中間発表を行いました。4チームの間がそれぞれの視点で発見した「中野区らしさ」を発表した後、中野区役所職員を交えた意見交換を行いました。さらに各チームでは、これらの成果を整理するとともに、更に新たな着想を加え、中野の新しいあるき方や観光施策のアイデアの発想に取り組みました。

## ワークショップ全体の流れ



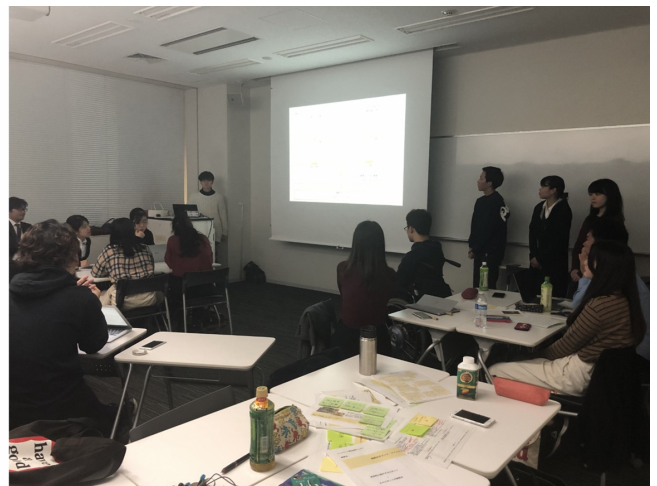
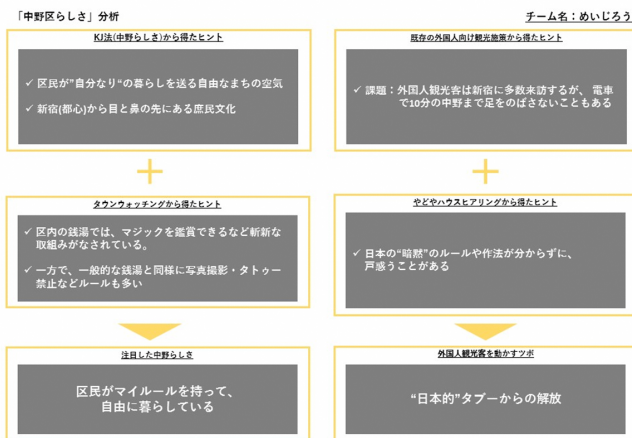
中間発表:若者目線で見える「中野区らしさ」

■チーム「ティラミス」の発表



チーム「ティラミス」は、中野区に数多く溢れる居酒屋に着目しました。路地にひしめく“こじんまり”とした居酒屋から、「ミニチュア感」というキーワードを発見しました。中野の居酒屋では、店員とお客さんが物理的にも、心理的にも距離が近く、アットホームな空気感が大きな魅力になっています。また店と店の距離が近い事に加え、手頃な値段で楽しめるお店が多いことが、“はしご酒文化”を生み出す土壌になっていることも分かりました。

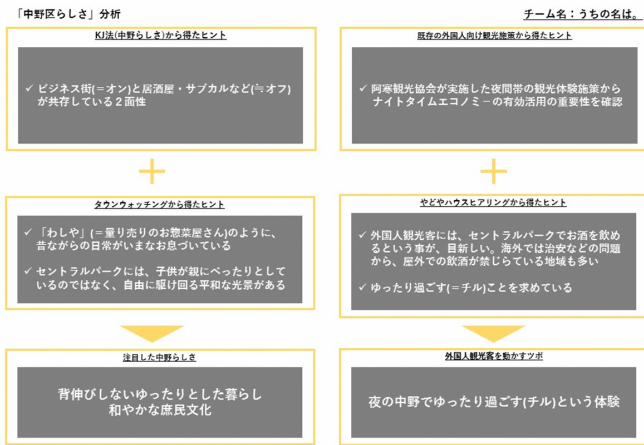
## ■チーム「めいじろう」の発表



チーム「めいじろう」は、中野区民の“住民間の関わり方”に着目し、タウンウォッチングを通して、中野区民が各々の個性を持って、自分らしく過ごしている姿を魅力として発見しました。チームでその背景にある精神性を考察し、各々が「マイルール」を持って、自分なりの暮らしを送ることを大切にしているという仮説を立てました。

仮説に基づく検証からは、区民同士が互いに干渉し過ぎず、かといって無関心ではない、心地よい距離感で共存していることが見えてきました。これによって、例えば、近所のコンビニにならサンダルで歩いていけるくらいに、肩の力を抜いて“等身大で暮らせるまち”ということが魅力だと考えられます。

## ■チーム「うちの名は。」の発表



チーム「うちの名は。」は、中野のまちがもつ"二面性"に着目しました。このチームのメンバーにとって中野のまちは、昼はビジネスマンが働く"オン"のまち、夜はオトナが居酒屋などで息をぬく"オフ"のまちに映りました。特に、このオフの側面については、居酒屋の店主のディープな個性を体感することで、他のまちとは一味違う夜を楽しむことができます。

また新宿から電車で10分ほどのビジネス街でもありながら、緑が溢れているという2面性も「中野区らしさ」として注目されました。セントラルパークや哲学堂公園など、散歩に適したスポットで、緑を感じることによって、気持ちを"オフ"できます。このように、「オン」と「オフ」が融け合うように共存するまちの姿が、大切な「中野区らしさ」であるということを発見しました。

## ■チーム「カフェイン」



チーム「カフェイン」は、まず入り組んだ「まちの構造」に着目しました。商店街の中には、小さな路地が沢山あり、まるでロールプレイングゲームのダンジョンのように「迷い込みたくなる」ことをタウンウォッチングから発見しました。入り組んだ路地に溢れる個性的な店や商品と

出会う中野のまちあるきは、まるで"宝探し"のような魅力的な体験になりそうです。

また、中野駅近くにあるウォールペイントにも「中野区らしさ」を見つけました。プロによる洗練されたアートではない、"手書き感"のあるデザインが、親近感を覚えさせ、どこか惹きつけられます。中野には、このように、"アマチュアな"個性も尊重する文化があることが発見されました。

## 最終発表会に向けて

中間発表後は、最終発表会に向けて、チーム間の意見交換を踏まえ、これまでタウンウォッチングや外国人観光客向けのゲストハウスへのヒアリングを通して発見した「中野区らしさ」を多角的に見直し、分析を深めました。

各チームでは、精緻化した「中野区らしさ」をもとに、それぞれ次の2つのアイデアの発想に取り組みました。1つ目は、中野区民だけでなく、外国人観光客にも魅力を伝えるために、今後取り組むべき"観光施策"のアイデアです。2つ目は、「中野区らしさ」を明日からでも体感できるような"ナカノ歩き"のアイデアです。既成概念に捉われない若者の目線で、中野区のイマとミライについて、自由に考えました。



最終発表会では、この2つのアイデアについて、その元となった「中野区らしさ」とともに発表します。半年間におよんで、学生が本気で中野区と向き合っ、中野区の現在そして未来のあり方について、考え抜いたアイデアの発表になります。次回の最終レポートにも、是非ご期待ください。